

## 評価結果報告書

防府市健康福祉部高齢福祉課介護給付係 宛て

提出日：令和 4 年 11 月 21 日

事業所名	24時間在宅老所新田の楽さん家
担当者名	嶋田 新一
連絡先	(0835) 21-3463

運営推進会議等での評価実施日	令和 4 年 11 月 10 日
----------------	------------------

提出書類(対象サービスの□に✓印をして下さい)

<input type="checkbox"/> 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
(別紙 1)自己評価・外部評価 評価表

<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護(介護予防含む)
(別紙 2-2)事業所自己評価
(別紙 2-4)サービス評価総括表

<input type="checkbox"/> 看護小規模多機能型居宅介護
(別紙 3-3)運営推進会議における評価

<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護
(別紙 2 の 2)自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

### 【提出先】

防府市健康福祉部高齢福祉課介護給付係  
E-mail:kfukushi@city.hofu.yamaguchi.jp

評価結果報告書と提出書類をメールで提出ください。

## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	いつでも理念を確認出来るよう玄関前、スタッフルームに掲示している。また、事業所理念について把握出来るよう、管理者より各職員へ個別でも伝えている。			管理者及び職員全員が事業所理念を共有してサービスの提供に努めている。玄関など目に見える位置に掲示するのは良い取り組みである。理念があつてこそ良い支援に繋がると思う。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染前は地区の大掃除に年2回、納涼祭に参加や近所の喫茶店を利用したり等地域との交流を図っている。現在はコロナ感染予防の為、地域との交流が出来ていない。			コロナ禍の為、地域行事への参加は出来なくなっているが、地区の掃除に参加したり、事業所で発行している広報誌により地域との関わりを深めている。事業所の広報誌の配布等地域との繋がりを大切に継続していくと良いと思う。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染状況の影響により、運営推進会議が開催出来ていない為、委員の方へ資料配布のもと意見をもらい、サービスの質の向上に努めている。	運営推進会議資料を配布し、電話連絡にて意見を頂き、改善している。		コロナ感染防止の為、書面会議という形にはなっているが、委員から積極的に意見を仰ぎサービス向上に努めている。意見交換時にアンケートであれば、会議での発言よりじっくり考える事が出来て良い意見が出るのではないか。
4	市町村との連携	市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護保険制度やコロナ等感染症について不明な点があれば、市の担当窓口へ確認を行った。また、管理者がGH連絡会の運営に携わっており、活動がコロナ感染予防の為、オンラインでの対応で市の職員の方にも参加して頂き、助言を受ける事で信頼関係の構築に努めている。			市担当者とは運営推進会議、介護保険事業の他、日頃から連絡を密に取り、事業所の取り組みについて相談する等協力関係を築いている。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束適正化会議を年に4回開催している。入居者の支援についての課題を全体会議を活用し職員間で話し合いをする事で身体拘束防止に努めている。玄関の施錠は日中は施錠しておらず、夜間18時から翌朝8時は防犯の為、施錠をしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な会議や研修を実施しており、職員全員が身体拘束をしないケアが出来ている。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	高齢者虐待研修を年に2回開催し、職員が虐待について学ぶ機会を設けている。管理者、主任が各職員へ入居者の支援の悩みの確認を行う事で、職員のストレスマネジメントにも努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な会議や研修を実施しており、職員全員が虐待防止に努めている。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人らしく生活を送る事が出来るよう、本人や家族の要望の確認をしながら支援の提供をしている。権利擁護に関する制度に関して、管理者が業務日誌へ権利擁護や成年後見についての資料を業務日誌へ供覧したり、内部研修(コロナ感染予防の為、資料を配布し自己学習)を行い、職員が学ぶ機会を設けている。			外部の研修のみならず、自らネット等を活用して研修すると良い。
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時には、不安や疑問点がないかその都度確認しながら、契約を進め同意を得ている。後日、不明点が出た場合にはその都度連絡を頂き、対応をしている。			不明点があれば、電話でも意見を言いやすい環境である。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者、家族より意見や要望が上がった場合には、要望シートの作成を行い、職員間で情報共有をしている。全体会議の活用を行い、より良い支援に繋げられるよう話し合う機会を設けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所内外の相談窓口と重要事項説明書等に明記し、契約時に説明している。運営推進会議が面会時にも随時要望等があれば聞いている。コロナ禍で面会謝絶の状況であるが、電話やメールにて写真を送ってもらっている為、安心出来ている。ビデオ通話等を活用すると良いのではないかと。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全体会議や職員会議を活用し、職員の意見を話し合う機会を設けている。管理者が日頃より職員の状況によって個別で面談を行い、意向の確認をしている。代表者へ報告、相談する内容があれば、管理者が代表して経営者会議や電話連絡にて報告、相談を行っている。			毎月の運営会議にて職員の意見を聞く場を設け運営に反映させている。

11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員がやりがいをもてるように、現場の状況に応じて外部研修を受講できるよう現場の体制を整えたり、資格取得や勤続年数に応じて賃金テーブルの設定をしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員から意見が出た場合には、速やかに改善に努めてほしい。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の介護技術や知識向上に向けて必要な研修案内を業務日誌へ情報提供したり、介護技術の基本の本をいつでも確認出来るように事務所に設置している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍であり、外部の研修の参加は少ないが、内部の研修の充実、業務に関する資料の提供等、職員のスキル向上に努めている。また、内部研修の実施、外部研修の参加を通じて、若い人材を育てる取り組みを行っている。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	GH連絡会、GH協会の学習会をコロナ感染予防の為、オンラインにて対応を行い、コロナ感染対策や実施指導の内容等について意見交換を行っている。			GH連絡会やその他関連する会議等に参加し、サービスの質の向上に取り組んでいる。オンラインでの研修では他事業所との久しぶりの繋がりが出来、安堵した。
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の立場になって考え、要望を確認しながら今までされてきた家事手伝い等自身で出来る事は職員と一緒に作業を行い、やりがいをもって頂いている。			利用者の能力に応じて、食器洗い等の家事に参加してもらい、支え合う関係を築いている。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染状況により、面会謝絶の状況であるが、馴染みの方より電話連絡や手紙が届いた場合には、ゆっくり会話や手紙の確認が出来るよう環境の配慮を行っている。	運営推進会議資料にて実施状況の報告を行っている。		コロナ禍の為、家族等の面会に制限をかけているが、本人との関係性が途切れないう必要な対応を行っている。行きつけの美容院へ外出する等の取り組みは、良い取り組みだと思う。

## II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意向の確認をしながら支援の提供を行っている。意思疎通が難しい入居者に関しては、家族に意向の確認をし、本人の意向に近づけるよう支援の提供をしている。本人と関わる中で初めて知った内容等あれば情報発見シート、要望シートの活用を行い職員間で情報共有をしている。			入居時に本人や家族等からニーズを細かく聞き取り、思いや意向の把握に努めている。
----	----------	--	--	---	--	--	---

17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画の内容に関しては、本人や家族の意向を確認した上で、本人の課題内容等について職員からも意見を取り入れながら作成をしている。介護計画のモニタリングに関しては、2ヶ月に一回の全体会議で話し合いを行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	計画作成担当者等が中心となって本人・家族や主治医等のニーズ、意見を参考に計画を作成している。必要であれば見直しを行い、現状に即した内容にしている。日々の情報共有等を活用し、サービスの提供に反映している。介護計画に関して、本人の意向をもとにその通りに対応してもらっている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活について、D4シート(日常生活の記録)、医療日誌、業務日誌の活用を行い、勤務前に確認し状況の把握に努めている。支援の中で気づきがあれば、要望シート、情報発信シート等の活用を行い、職員間の情報共有を行う事でケアの見直しをしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のケアの実践により改善点や工夫を個別に記入し、職員間で共有しながら介護計画の見直しに活かしている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の日常生活の中で、課題がある場合には家族へ相談の上、主治医とも連携を図りながら、必要に応じて理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等より専門的な助言をもらっている。			コロナ禍の為、サービスの提供に制限がかかっているが、本人や家族等のニーズに出来る限り、対応して柔軟なサービスを提供している。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染前は、地区の大掃除、納涼祭の参加、買い物へ外出を行っていたが、現在外出が出来ていない。その為、室内で充実できる花見イベント、夏祭り等のイベント行事を開催した。			地域との繋がりとして、自治会長と連携を図りながら喜ばれるイベント行事の計画をしていくと良い。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看護職員サポートのもと協力医療機関と連携を図り、必要に応じて24時間往診体制で適切な医療を受ける事が出来るように体制を整えている。			かかりつけ医と関連のある病院の医師と連携し、本人、家族の意向に添った医療を受けられるように支援している。 24時間対応してもらっている為、安心出来ている。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院発生時には、家族同意のもと入院先の医療機関へ口頭での情報提供を含め情報提供書の提出を行っている。退院時には地域連携室の方と連携を図りながら情報交換を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の入院時に適切な情報提供を行っている。

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に重度化の指針、看取りについての内容を説明し同意を頂いた上で、その時の家族の意向の確認を行っている。本人の状況が変化した場合にも、家族、職員と今後の方向性について再度意向の確認を行い、書面に残している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化に際しての指針を整備し、契約時および本人の状況変化時に意向の確認をしている。急変時など報告した内容を書面に残す事は重要である。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変時マニュアル、事故発生時のマニュアルを作成し、職員がいつでも確認出来るようにしている。また、不安な職員に関しては看護職員が個別で情報提供を行っている。			夜間は特に不安であると思う為、急変時のマニュアルがあるのは良い取り組みである。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	防災訓練を年1回、避難訓練を年に2回行い、消防機関の方より助言を受けている。コロナの状況が落ちつき次第、地域の方や家族にも参加して頂く予定。	消防機関の方へ防災計画書、避難訓練計画書を作成し配布している。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に避難訓練を行い、地域関係者との協力関係を築いている。特に新人職員に関しては、避難訓練に参加してもらい、災害時の教育をしていけば良いと思う。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴やトイレ誘導等に関して、常に入居者の自尊心、羞恥心に配慮しながら、声掛けや対応を行っている。入浴に関して、同性介助を希望された方に関しては同性介助で対応を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	仕事優先でなく、プライバシーを配慮するという事を常に念頭において対応する事が重要。相談室が外から見えないようにする等、利用者のプライバシーを確保するように努めている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の状況に応じて、食事の提供時間、起床時間を配慮したり、自室で休んで頂く時間の確保をしたり等、本人の意向を確認しながら対応を行っている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の好みの物、苦手な物を把握、本人の嚥下状況に応じて食事内容の見直しをしたり、美味しく食べて頂けるよう声掛けの工夫を行っている。季節感を味わって頂く為に、定期的に食事イベントを開催し、一緒に出来る方に関しては盛り付けを手伝って頂いている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者が食事をする楽しみだけでなく、食事を提供する楽しみが得られるように努めている。

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事量、水分量を把握する為、バイタルチェック表、D4シート(日常生活記録)の活用をしている。入居者の状況によっては、主治医判断のもと、管理栄養士、言語聴覚士の方に来訪してもらい、嚥下状況や食事の内容を確認してもらい、助言を受けている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、口腔ケアの実施を行い、口腔内の清潔保持に努めている。本人での口腔ケアが難しい方に関しては、口腔ケアスポンジや口腔ウエットを活用し、職員が対応を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアを嫌がる方への対応はどうされているか教えてほしい。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の状況に応じて、自発的にトイレに行く事が難しい方に関しては、排泄チェックボードを活用し、その方の排泄状況の把握をした上で、自尊心に配慮しながら3時間から4時間おきにトイレ誘導を行っている。本人の負担軽減と夜間の安眠の為、夜間ポータブルトイレを使用している方もいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	24時間シートを活用し、確認、把握をしている。余暇活動、趣味活動をして頂き、1日の生活リズムを整える支援をしている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間帯を除き、入居者の希望に出来るだけ対応が出来るように時間の配慮をしている。気持ち良く入浴して頂けるよう心の動く声掛けの工夫や入浴剤等を使用し入浴を楽しむ事の出来る配慮を行っている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	就寝時間を設けず、入居者が休みたい時間に就寝して頂いている。日中に関して、入居者の意向の確認や状況に合わせて、お昼寝して頂く時間の確保をしている。			入居者の状態が様々であるが、一人ひとりに応じた対応が出来ている。

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者が何の薬を飲まれているか、すぐ確認が出来るように薬ケース横に、薬の説明書を置いている。薬剤訪問管理指導を契約している為、薬に関して不明点があれば24時間体制で相談出来るようになっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者個々の個性を活かせるよう、その方に合った家事手伝い、塗り絵、パズル等の個別的な作業の提供や集団でのレクリエーションで歌、転倒予防体操、カルタ等の提供を行っている。			利用者の能力に応じて食器洗い等の役割を持ってもらい、支え合う関係を築いている。本人が喜んでもらえる支援をしてもらっている為、安心できている。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染前は、入居者の要望の確認を行い、個別支援(買い物、外食等)、外出支援(日帰り旅行、ホテル観賞等)を行っているが、現在は一時制限中である。感染状況を見極めながら、買い物等の外出支援の提供をしていく。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人より希望があれば、事前に家族へ相談し少額のお金を所持して頂いている。			今後、金銭管理の要望があった時に備えて職員用のマニュアル等を作成するように努めてもらいたい。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族や知人に電話を掛けたいと要望があれば、事前に相談の上対応をしている。手紙や年賀状に関して、返信が出来る方であれば、職員と一緒に作成をしている。			出来る限り入居者本人が会話、返信出来るように努めている。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関や食堂に和テイストの飾りや季節に合った造花を飾り家庭的な雰囲気作りを行っている。食堂、トイレ、各自室に湿温計を設置し、湿度、気温の確認を行い冷暖房で空調管理し快適に過ごして頂ける環境作りにも努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の服装が制服がなくて私服の為、家庭的で良い。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	出来る限り入居者一人ひとりの意向に沿った生活を送る事出来るように支援している。			その人によつての支援は、コロナの現状で厳しい状況もあると思う。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者と携わる中で本人の生活歴や暮らしの習慣をコミュニケーションを図る中で情報収集を行っている。また、職員間で情報共有する事で一貫性のある支援に努めている。			友人関係などはその方の生きがいである為、その生きがいを職員がしっかりサポートしてほしい。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看護職員を中心に体調の管理を行い、何か特変があれば協力医療機関へ相談し指示を受けながら、ケアに努めている。		A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族が安心して楽さん家に任せられるという取り組みが出来ている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	安心して過ごして頂けるよう、入居前やこれまでの生活習慣を本人、家族へ聞きながら、本人の意向に沿った生活が出来るようにしている。			長生きして頂く為にも、その人のペースを大切にしてほしい。
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に本人の馴染みである物(ご主人の写真、ぬいぐるみ、靴)を持って来て頂いている。		A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居心地のよい空間を作ろうという意思が大切である。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. <input checked="" type="radio"/> ほとんどできていない	コロナの感染状況により、買い物、外食、外部のイベント行事の参加が厳しい現状である。 気分転換に外気浴の提供やパンの訪問販売に来て頂き、好きなパンを職員と一緒に購入をしている。			
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の状況に合わせた支援(家事手伝い、カラオケ、パズル等)の提供が出来るように全職員が情報収集を行い、対応している。			入居者ごとの能力に応じた役割を持ってもらうように努めている。 趣味がない方に関しては、塗り絵等新しい物を提供する事で夢中になれるかもしれない。

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	状況に応じて、会話する事を好まれる方に関しては、入居者同士、職員と会話が弾むように話題の提供をしたり個別で過ごしたい方に関しては、個別の空間でゆっくりして頂ける環境の配慮も行っている。	/	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりに合わせた空間作りをしているところは、良い取り組みである。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ感染予防の為、外出に制限もあり地域の方との交流が出来ていない。 外気浴をした際に、近所の方と挨拶をする程度の交流しか出来ていない為、感染状況が落ちつき次第、地区の納涼祭の参加等の交流を考えている。	/		事業所の広報誌を地域へ配布をしているとの事で、地域との交流は継続出来ている。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人が日常生活の中で、本人らしく過ごす事が出来るように職員は要望を聞きながら支援の提供を行い、関係性構築に努めている。現在、コロナ感染状況により地域との交流する機会が減っているが、状況が落ちつき次第、地区のイベント行事に参加したり等地域の方との交流もさらに深めていきたい。		A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の状況でも、工夫しながらイベント行事の提供をしていくと良いと思う。

## 2. 目標達成計画

事業所名： 24時間宅老所 新田の楽さん家

作成日： 令和4年 2月 5日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	年2回の避難訓練に関して、訓練の内容がマンネリ化しており、急遽災害が起こった場合に柔軟な対応が出来る訓練が実施出来ていない為、避難内容の見直しが必要である。	消防機関から委託を受けている業者との連携を図りながら、避難訓練の実施内容に関して、現状における訓練が実施出来るよう計画を立てる。	避難訓練について実施日は伝えるが、具体的な時間帯、入居者、勤務者には具体的な情報を伝えず実施し、応援職員、地域の方がどのくらいで集まる事ができ、避難誘導に関してどれくらいかかるか、時間の計測をする。	12ヶ月
2					
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加すること。